





展開

バイオマス発電・混焼のノウハウで
電力需要が増大する東南アジアの
脱炭素を推進

2027年3月期
上期
決算補足説明資料

2026年11月10日

強守

小売・トレーディング
アグリゲーション事業（蓄電池等）
発電・燃料事業で
国内の堅固な事業基盤をつくる

イーレックス株式会社[9517]

erex

再生可能エネルギーをコアに
電力新時代の先駆者になる

売上高は電力市場価格上昇により前年同期比増
営業利益は上期計画を上回る
一方、電力市場の環境変化や海外事業のコスト増により前年同期比減

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する中間利益	
	1,128億円		5億円		1億円		▲3億円	
	金額	進捗率/前期比	金額	進捗率/前期比	金額	進捗率/前期比	金額	進捗率/前期比
上期計画	1,166億円	96.8%	3億円	152.8%	4億円	22.1%	1億円	-
前年同期実績	865億円	130.4%	36億円	15.8%	32億円	3.4%	15億円	-
通期計画	2,406億円	46.9%	78億円	7.3%	92億円	1.2%	54億円	-

- 売上高は前年同期比30.4%増収。電力市場価格上昇による販売単価の上昇や燃料外販の拡大に加え、海外事業の稼働率が向上
- 営業利益は上期計画を上回る着地。一方、小売事業における調達価格の上昇や海外事業の原価高騰等により前年同期比では減益。下期は収益力の改善に注力。小売・トレーディング事業での収益確保、海外事業のコスト低減、全社的な販管費削減を推進
- 税引前利益および親会社の所有者に帰属する中間利益は、円高のマイナス影響により計画比減

Copyright©　erex Co.,Ltd.　All rights reserved.

通期業績見通しと今後の対応

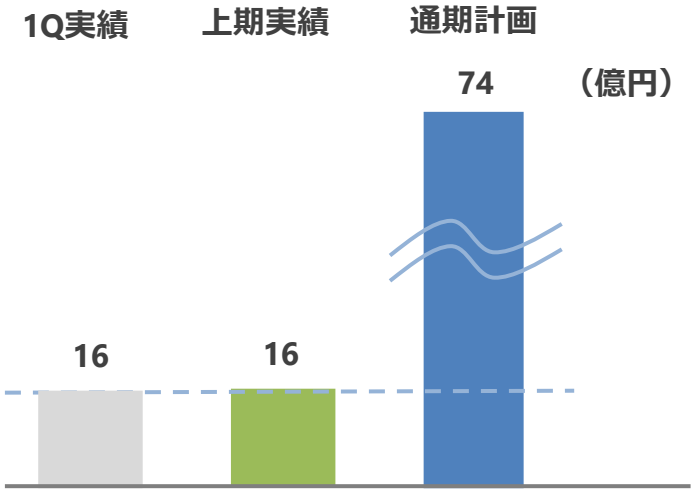
- 上期業績は計画を上回ったものの、通期計画の達成に向けては、電力市場の変動や燃料・原料価格の動向等により不確実性が存在
- 下期は、小売・トレーディングでの収益確保および海外事業の収益改善、全社での販管費削減に注力
- 昨年度時点で、2026年度下期に向けて高圧顧客のプラン変更を加速する計画だったため、既存需要向けに一定量調達を確保。この調達分を活用し、下期で収益獲得を推進

営業利益	'27.3期 通期計画	'27.3期 上期実績	'26.3期 上期実績	'27.3期 上期評価と下期対応
小売・トレーディング	74	16	43	上期は、数量等のKPIは、低圧は計画を達成、高圧は市場環境変化により計画を下回った。調達価格上昇により前年同期比減。下期は、プラン変更での粗利改善や安価な調達電力の活用による収益獲得を推進
発電・燃料	▲7	▲1	▲3	上期は、燃料外販増加および国内発電所における固定費減で前年同期比増。下期は引き続き燃料外販および発電所の安定稼働に取り組む
海外	▲17	▲13	▲8	上期は、ハウジャンバイオマス発電所およびトゥエンクアンペレット工場が稼働率向上。一方、燃料および原料価格の高騰・販管費増により前年同期比減。下期は、売電価格引き上げ交渉、もみ殻の新たな調達先の開拓による安定供給、ペレット工場のコスト低減を推進
その他連結調整	▲5	▲8	▲7	上期は、株主優待にかかる費用を計上（半期ごとに発生）。下期は全社での販管費削減を加速する見込み
IFRS調整項目	34	13	11	上期は、デリバティブ利益により前年同期比増。下期は、子会社の出資元の損失認識による一時的利益が発生する見込み

Copyright© erex Co.,Ltd. All rights reserved.

小売・トレーディングの状況

営業利益（小売・トレーディング）



KPI	上期計画	上期実績	状況
高圧販売電力量	1,515GWh	1,417GWh	▲6.5%
高圧契約容量	1,036MW	1,024MW	概ね計画通り
低圧販売電力量	551GWh	556GWh	計画超過
低圧件数	27.4万件	28.0万件	計画超過

上期利益減の主な要因
- 燃調等の期ずれによるマイナス影響
- 中東情勢を背景とした市場環境の変化を受け、26年3～6月に高圧・固定プランの新規獲得停止

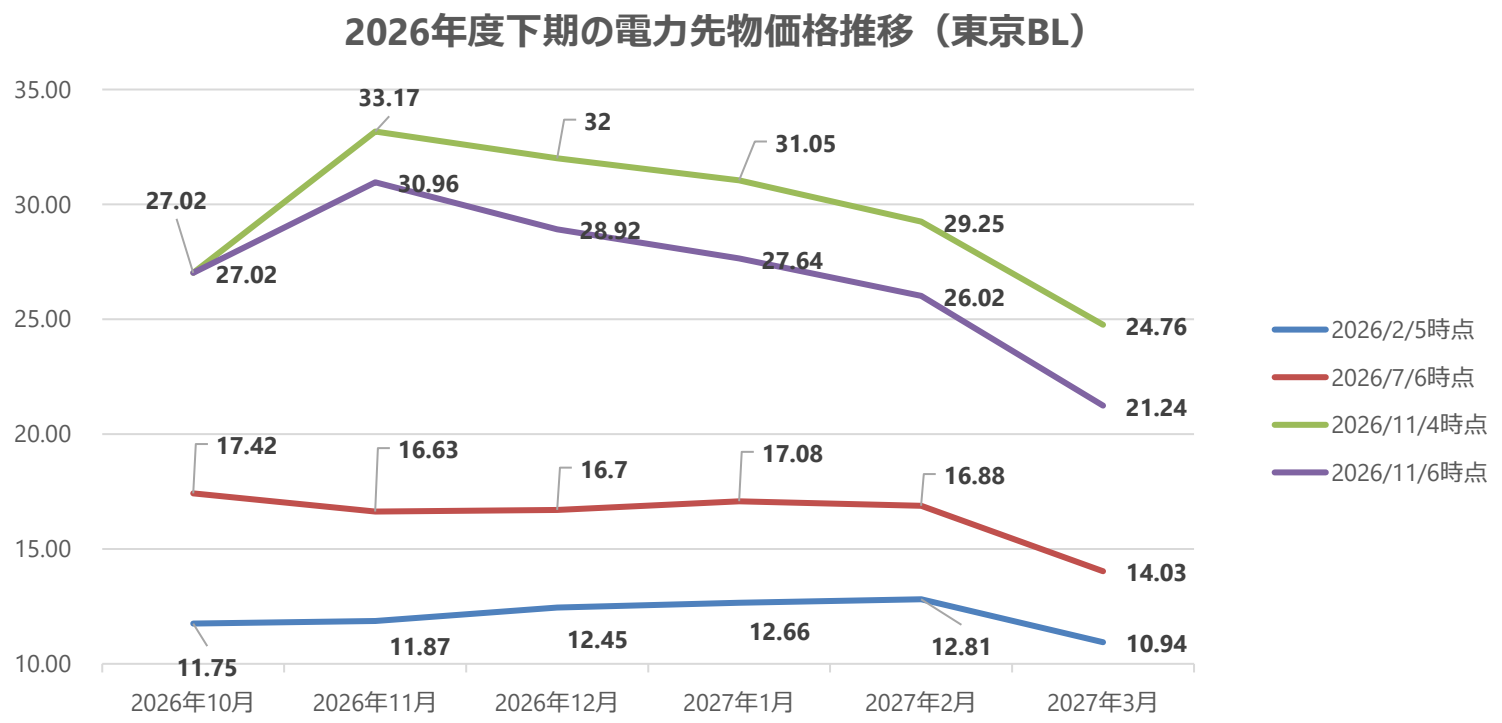
2Q利益減の主な要因
- 燃調等の期ずれによるマイナス影響
- 冷夏により販売電力量が前年同期比で減少
- 市場価格上昇による顧客の離反が発生。顧客確保に向け、粗利を削減

下期に向けた収益改善の取り組み
- プラン変更等による収益性の改善
- 安価な調達電力の活用による収益獲得

Copyright© erex Co.,Ltd. All rights reserved.

（参考）先物価格動向

- ホルムズ海峡封鎖前の2026年2月時点と11月現在での2026年度下期の先物価格を比較すると、倍以上となっている
- 上期では、ホルムズ海峡の封鎖解除等のイラン戦争に係る早期収束に向けた動きもあり、顧客でのヘッジニーズは限定的だった。さらに顧客に提示可能な価格が高値であるため、プラン変更は鈍化。市況も踏まえ、下期での営業も推進。また、この事前調達分を活用し、下期は収益獲得を推進



出典：TOCOM電力先物価格を参考に当社作成

Copyright© erex Co.,Ltd. All rights reserved.

収益面では課題が残る一方、国内外の事業基盤構築は着実に進展

上期進捗

国内事業

- 小売KPIは概ね計画通り進捗
- 低圧件数は通期計画に到達水準
- 発電所は概ね安定稼働
- 系統用蓄電池1・2号案件が運開

海外事業

- カンボジア水力建設進捗
- カンボジアデータセンター事業性調査開始
- 混焼試験3基目完了

上期の課題

国内事業

- 高圧小売販売の減速
- 冷夏による販売電力量の減少
- 市場価格上昇による調達価格上昇

海外事業

- 燃料・原料価格の高騰
- 利益貢献が限定的
- 売電価格引き上げ時期の遅れ

今後の注目点

収益改善

- 小売プラン変更による粗利改善
- 調達コストの最適化
- 海外事業のコスト低減

成長案件

- ハウジャン売電価格変更交渉
- カンボジア水力の運転開始
- ベトナム新設バイオの売電価格交渉
- 蓄電池事業の展開

既存事業の収益力改善と、成長案件の収益化に向けた取り組みを並行して推進

Copyright©　erex Co.,Ltd.　All rights reserved.

1. 2027.3期　上期　決算概要

2. 全体戦略

3. 取り組み状況 – 国内

4. 取り組み状況 – 海外

Copyright©　erex Co.,Ltd.　All rights reserved.

2027.3期　上期累計実績（2026年4月～2026年9月）：IFRS基準

前年対比

■ 売上高　：市場価格上昇およびそれによる販売単価の上昇、燃料外販での販売量増加、海外事業の稼働率向上により前年同期比増

■ 営業利益：国内発電所における販管費削減等があるも、小売事業における調達価格の上昇、冷夏による販売電力量減、海外事業における原価の高騰等により前年同期比減

（億円）	’26.3期 上期累計（実績）	’27.3期 上期累計（実績）	増減額	増減率	’27.3期 上期累計（計画）	上期 計画比	’27.3期 通期（計画）	通期 進捗率
売上高	865	1,128	+263	+30.4%	1,166	96.8%	2,406	46.9%
粗利	97	59	▲37	▲38.5%	63	93.5%	191	31.2%
販管費	64	60	▲4	▲6.8%	64	93.5%	133	45.1%
その他の収益費用	3	6	+2	+74.2%	4	147.2%	19	31.2%
営業利益	36	5	▲30	▲84.2%	3	152.8%	78	7.3%
税引前利益	32	1	▲31	▲96.6%	4	22.1%	92	1.2%
当期利益※1	15	▲3	▲19	-	1	-	54	-

※1 当期利益：親会社の所有者に帰属する中間利益

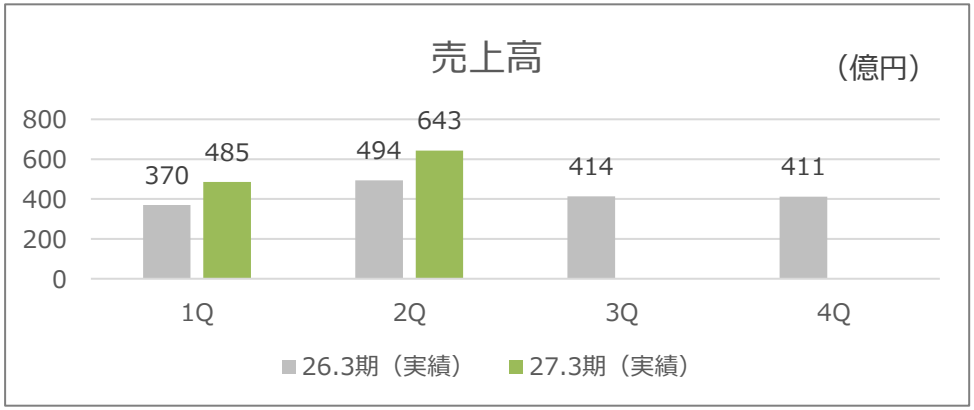
Copyright©　erex Co.,Ltd.　All rights reserved.

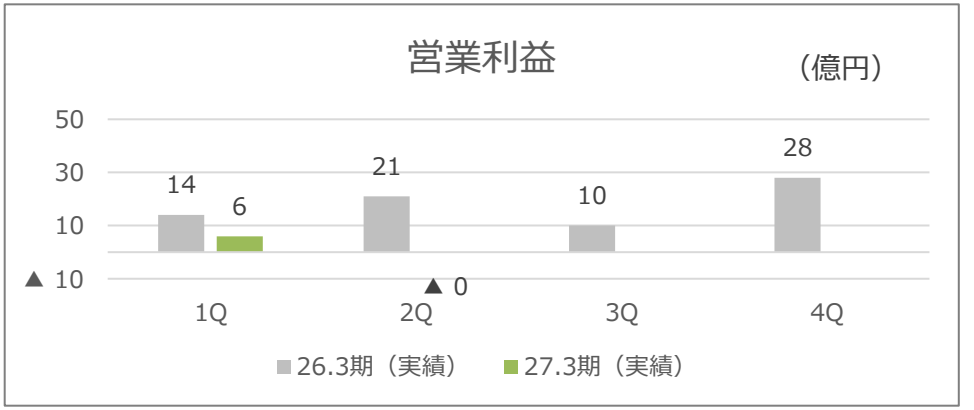
2027.3期　上期累計実績（売上、利益の部門別内訳※1）

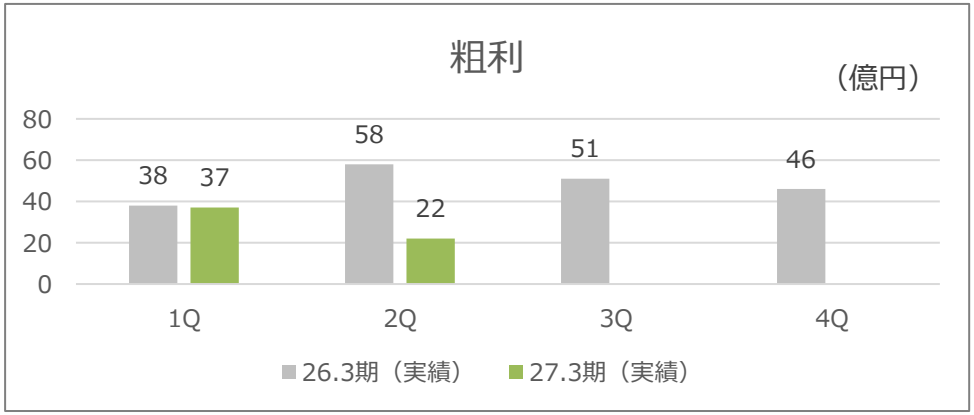
（億円）		’26.3期 上期 累計（実績）	’27.3期 上期 累計（実績）	増減額	’27.3期 通期 （計画）	特記事項
売上高		865	1,128	+263	2,406	
	小売・トレーディング	984	1,302	+318	2,790	市場価格上昇およびそれに伴う販売単価の上昇により前年同期比増
	発電・燃料	267	278	+11	578	燃料外販量増加により前年同期比増
	海外	3	24	+21	61	ハウジャンバイオマス発電所およびトゥエンクアンペレット工場の稼働率向上により前年同期比増
	その他連結調整	▲389	▲477	▲88	▲1,023	
営業利益		36	5	▲30	78	
	小売・トレーディング	43	16	▲27	74	市場価格上昇による調達価格の上昇、冷夏による販売電力量減、燃調等の期ずれ影響により前年同期比減
	発電・燃料	▲3	▲1	+1	▲7	燃料外販量増加および国内発電所における販管費の見直しによる固定費減で前年同期比増
	海外	▲8	▲13	▲5	▲17	ハウジャンバイオマス発電所およびトゥエンクアンペレット工場の稼働率の向上があるも燃料および原料の価格高騰、販管費の増加により前年同期比減
	その他連結調整	▲7	▲8	▲1	▲5	株主優待に係る費用計上により前年同期比減
	IFRS調整	11	13	+2	34	前期に開発報酬が発生したことの反動があるも、デリバティブ利益により前年同期比増

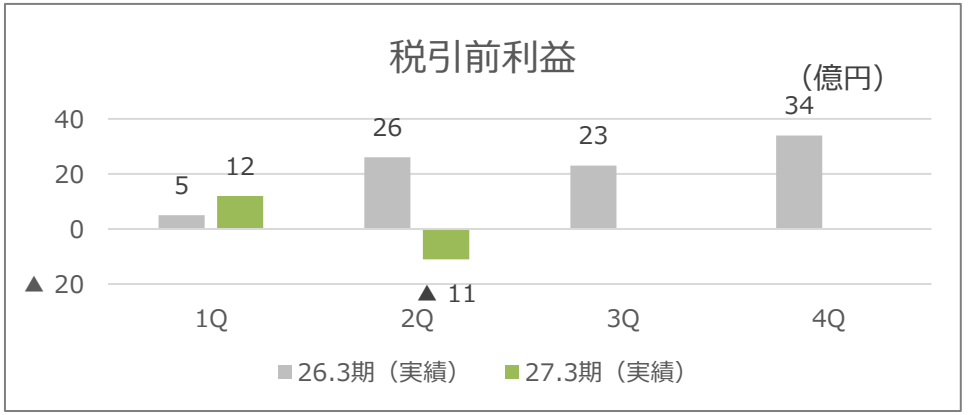
Copyright©　erex Co.,Ltd.　All rights reserved. ※1 部門別の数字はIFRS調整前、当社は単一セグメントのため、社内試算

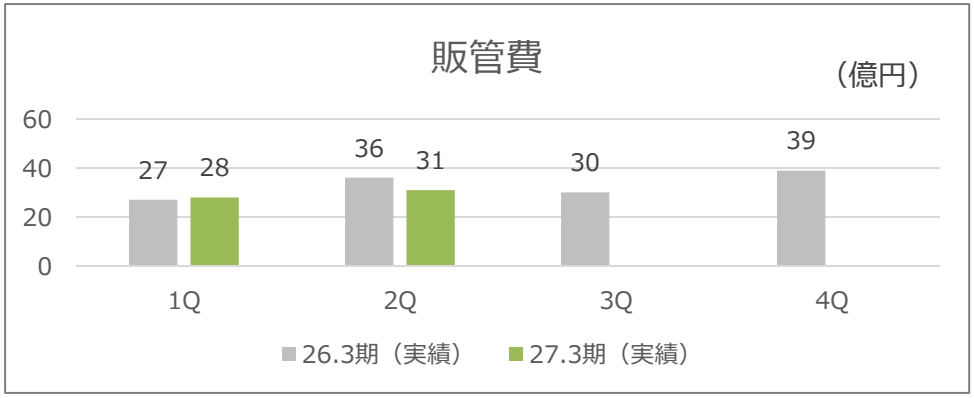
主要項目の四半期推移（実績）

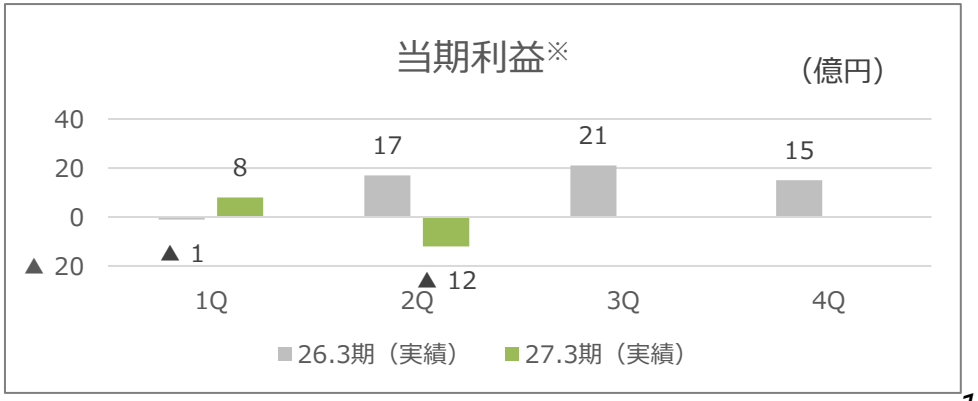








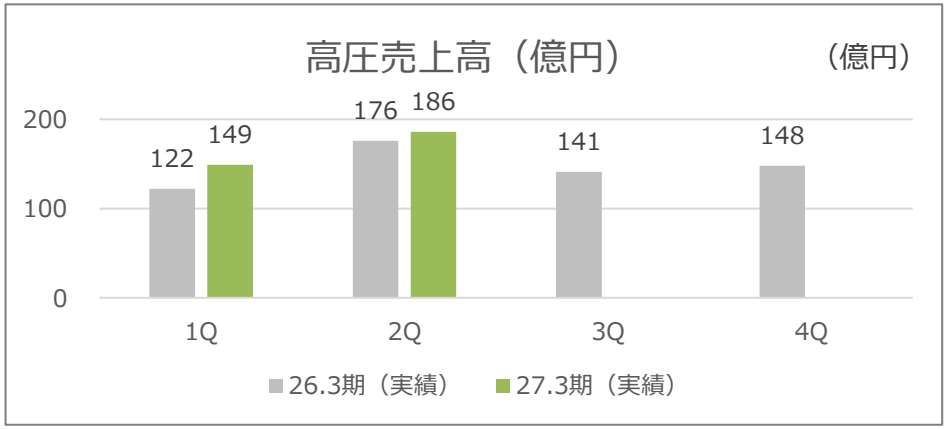


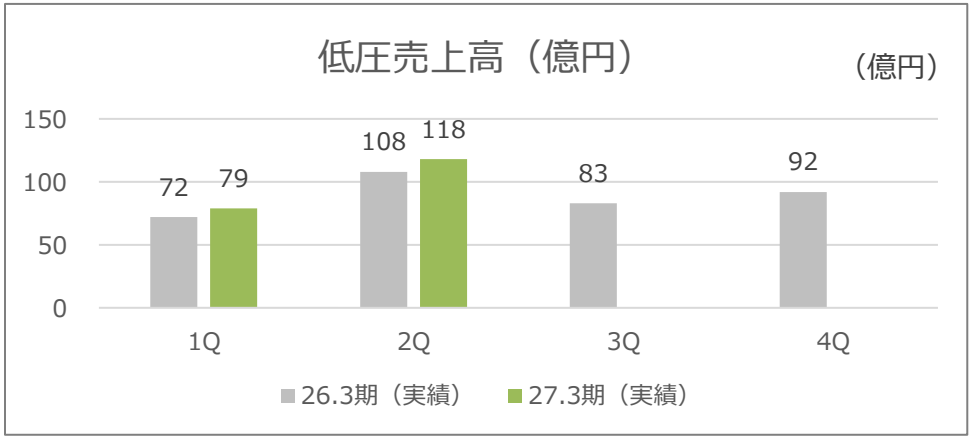


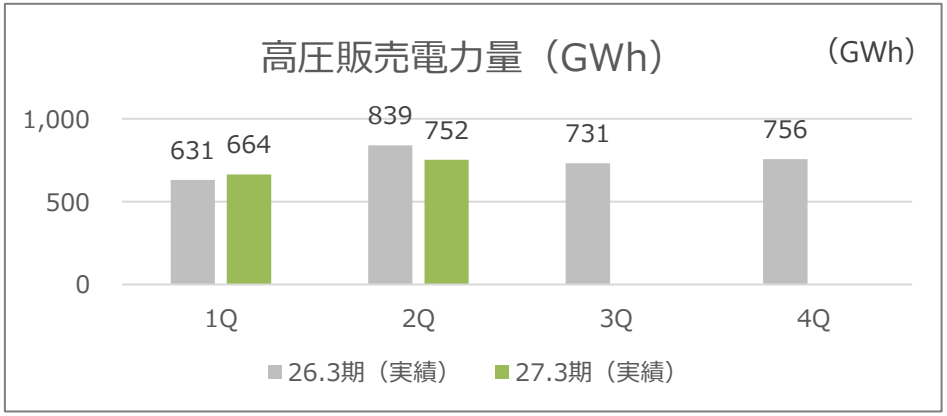
Copyright©　erex Co.,Ltd.　All rights reserved.

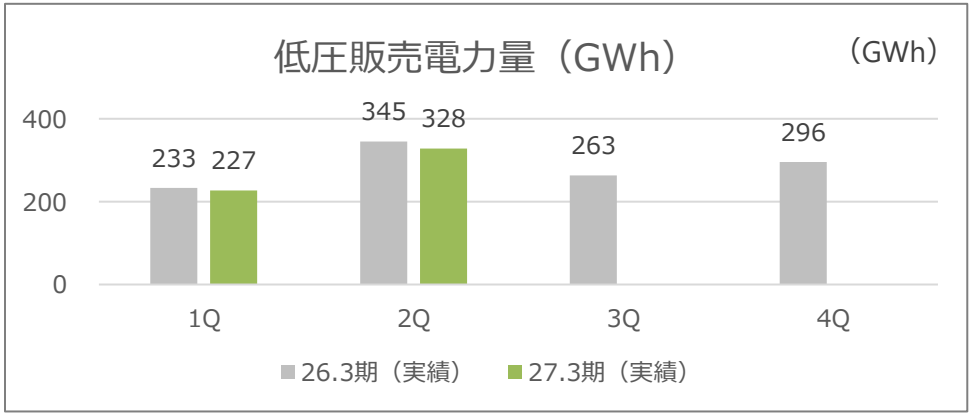
※ 当期利益：親会社の所有者に帰属する当期利益

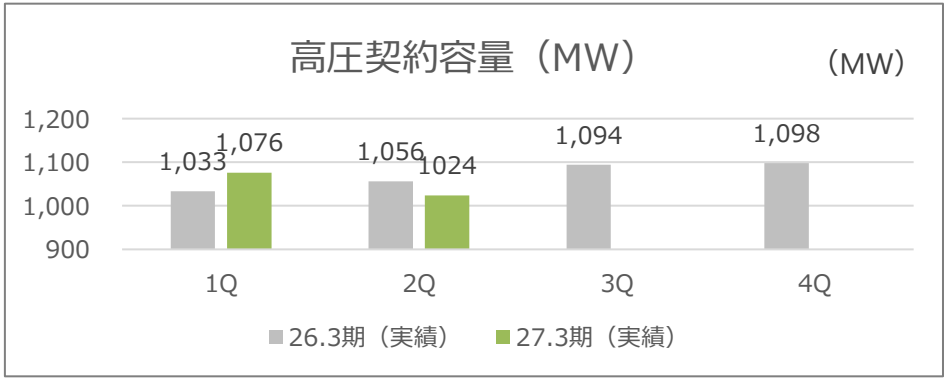
小売・トレーディング部門四半期推移（実績）

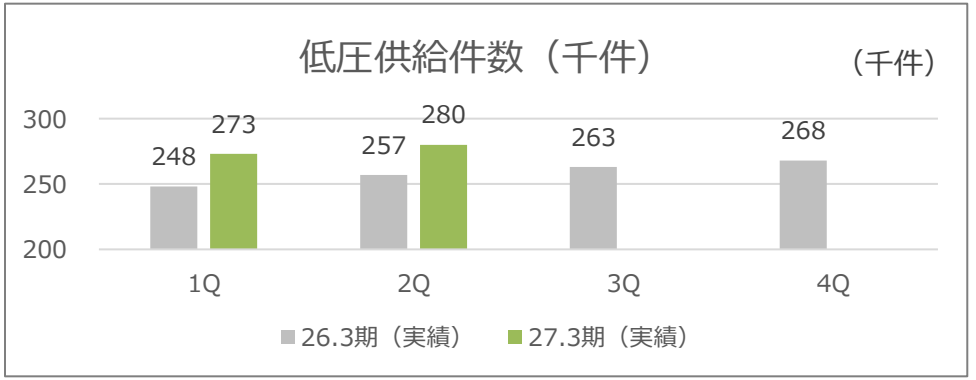












Copyright© erex Co.,Ltd. All rights reserved.

2027.3期　上期　連結貸借対照表の概要

（単位：億円）	2026.3期 期末	2027.3期　上期		
		実績	増減	主な増減要因
流動資産	638	713	75	• 社債の発行による現金及び預金の増加 • 小売売上の増加による売掛金の増加
非流動資産	1,062	1,085	22	• ベトナム発電所の建設仮勘定の増加
資産合計	**1,700**	**1,798**	**97**	
流動負債	443	570	126	• 電力調達の増加に伴う買掛金の増加 • 社債の発行による増加 • 短期借入金の増加
非流動負債	480	498	17	• 社債の発行による増加
負債合計	**924**	**1,068**	**144**	
親会社所有者持分	703	681	▲22	• 配当による利益剰余金の減少
非支配株主持分	72	48	▲24	• 子会社株式取得による減少 • 子会社の配当による減少
資本合計	**776**	**729**	**▲46**	
現金および預金	275	337	61	• 社債の発行による現金及び預金の増加
有利子負債	558	643	84	• 社債の発行及び短期借入金の増加
親会社所有者帰属持分比率	41.4%	37.9%	▲3.5%	

Copyright©　erex Co.,Ltd.　All,rights,reserved.

2027.3期　上期　連結キャッシュ・フロー計算書の概要

運転資金管理の強化と計画的な資金調達を通じて、財務健全性に留意しながら国内外の成長投資を推進

- ■ 運転資金の減少等により営業活動によるキャッシュ・フロー（＋）
- ■ 系統用蓄電池・ベトナム事業等の有形固定資産の取得およびカンボジア事業への貸付により投資活動によるキャッシュ・フロー（▲）
- ■ 社債の増加および長期借入金の減少により財務活動によるキャッシュ・フロー（＋）

（単位：億円）	2026.3期 上期	2027.3期 上期	
		実績	期首残高からの変動要因
現金および現金同等物の期首残高	**336**	**275**	
営業活動によるキャッシュ・フロー	**▲59**	**74**	
税引前利益又は税引前損失	32	1	
減価償却費及び償却費	19	19	
減損損失	－	－	
運転資金*の増減	▲92	71	仕入債務の増加、売上債権の増加
法人所得税の支払額又は還付額	▲15	▲18	
その他	▲3	0	
投資活動によるキャッシュ・フロー	**▲46**	**▲47**	系統用蓄電池・ベトナム事業等への有形固定資産の支出の増加、カンボジア事業への貸付金の増加
財務活動によるキャッシュ・フロー	**▲1**	**41**	社債の増加、長期借入金の減少
現金および現金同等物に係る換算差額	**▲4**	**▲2**	
現金および現金同等物の期末残高	**222**	**342**	
フリーキャッシュ・フロー	**▲106**	**27**	運転資金の減少、系統用蓄電池・ベトナム事業等への有形固定資産の支出の増加、カンボジア事業への貸付金の増加

*売上債権＋棚卸資産＋未収入金－仕入債務－未払金

Copyright©　erex Co.,Ltd.　All,rights,reserved.

2027.3期　上期実績　発電量

- 豊前、大船渡、中城の各発電所は、安定稼働により計画比増。佐伯は設備不具合により計画比微減
- 糸魚川発電所は2027.3期は運転休止
- 土佐発電所は2025.3期下期より運転休止

発電所名	発電量（GWh）			定期点検
	計画	実績	計画比	
佐伯	172	168	97.9%	
豊前	241	244	101.2%	4/16-5/7
大船渡	231	235	102.1%	7/1-7/31
中城	153	161	105.0%	4/1-4/27
糸魚川※1	0	0	-	-
土佐※2	0	0	-	-

※1 糸魚川発電所は、2025/4/1より休止
※2 土佐発電所は、2024/9/1より休止

Copyright©　erex Co.,Ltd.　All rights reserved.

1. 2027.3期　上期　決算概要

2. 全体戦略

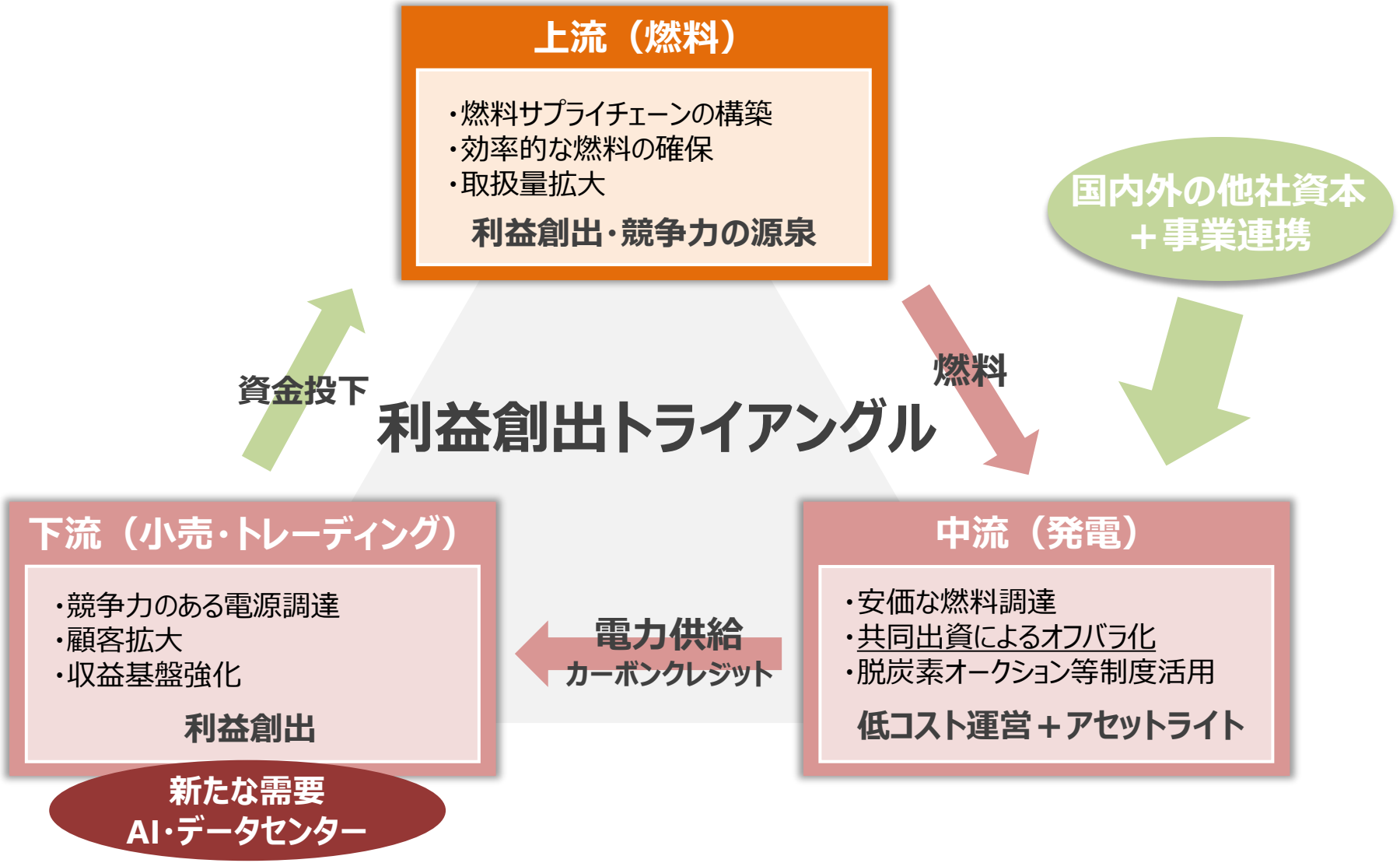
3. 取り組み状況 – 国内

4. 取り組み状況 – 海外

Copyright©　erex Co.,Ltd.　All rights reserved.

（再掲）利益創出トライアングル

上流・中流・下流の一体運営により、資本効率と収益力を持続的に向上



Copyright© erex Co.,Ltd. All rights reserved.

1. 2027.3期　上期　決算概要

2. 全体戦略

3. 取り組み状況 – 国内

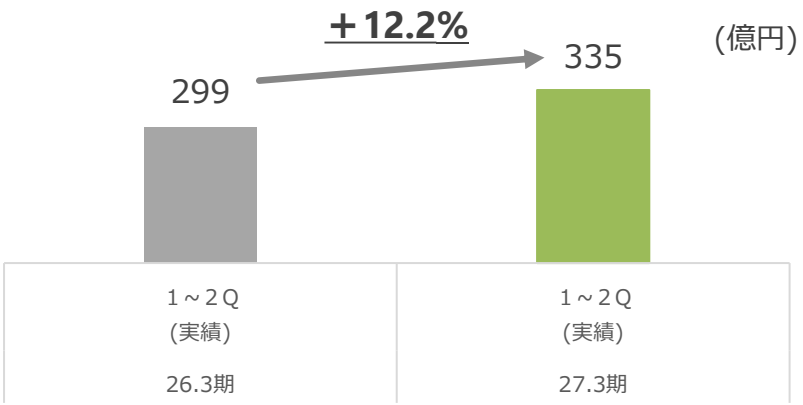
4. 取り組み状況 – 海外

Copyright©　erex Co.,Ltd.　All rights reserved.

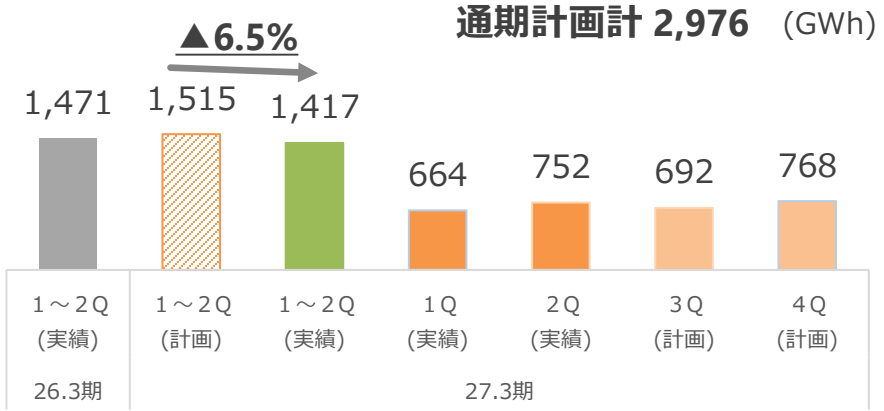
2027.3期　上期実績　高圧小売

- 電力の市場価格上昇により売上高は増加。市場価格の大きな変動を受け、新規顧客受付を一時停止し、代理店の活動が停滞したため、契約容量が減少。冷夏の影響もあり、販売電力量が減少
- 市場連動プランから先物を活用した固定プラン等のプラン変更を促し、粗利の改善を目指す

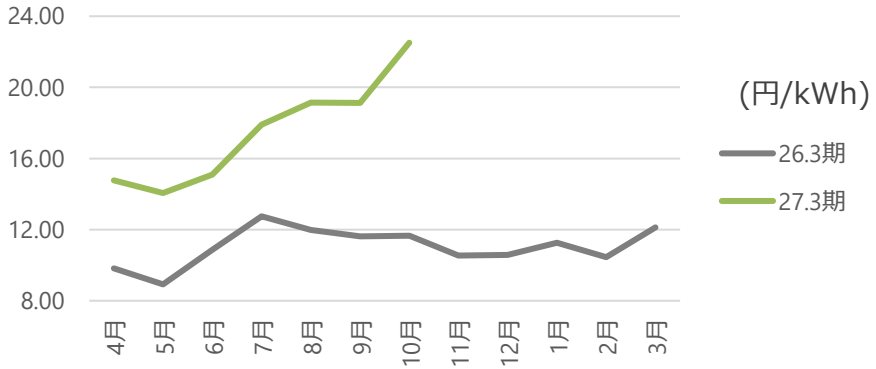
売上高　※激変緩和補助金含む



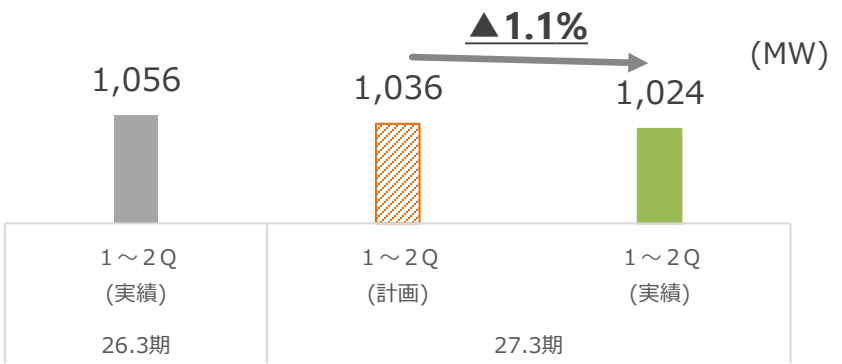
販売電力量



市場価格推移（JEPXシステムプライス）



契約容量

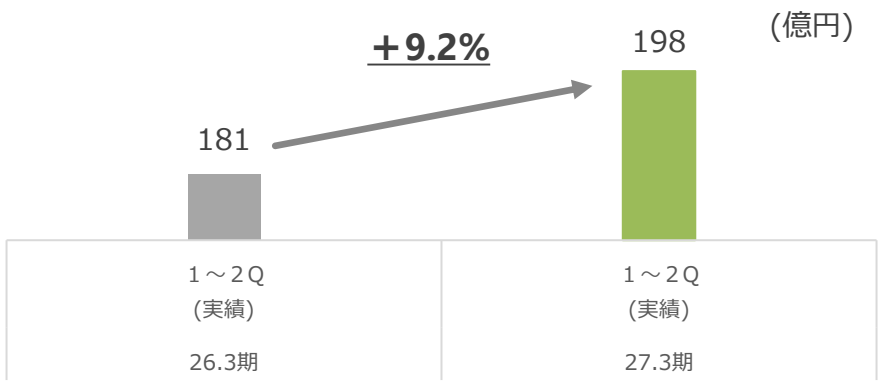


Copyright©　erex Co.,Ltd.　All rights reserved.

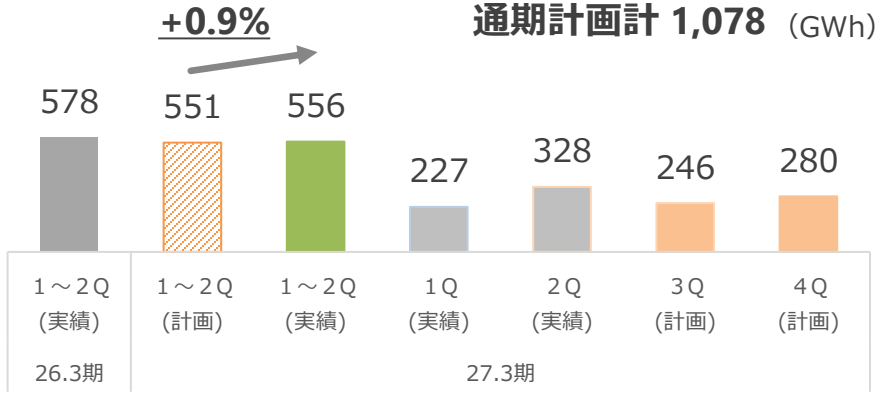
2027.3期　上期実績　低圧小売

- 引き続き新規チャネル（不動産等）での獲得が好調で供給件数は28.0万件でほぼ通期計画に到達。一方、1件当たりの販売電力量の減少および夏場の天候不順により販売電力量は前年同期比減少
- 売上高は市場価格の上昇により前年同期比9.2%増加

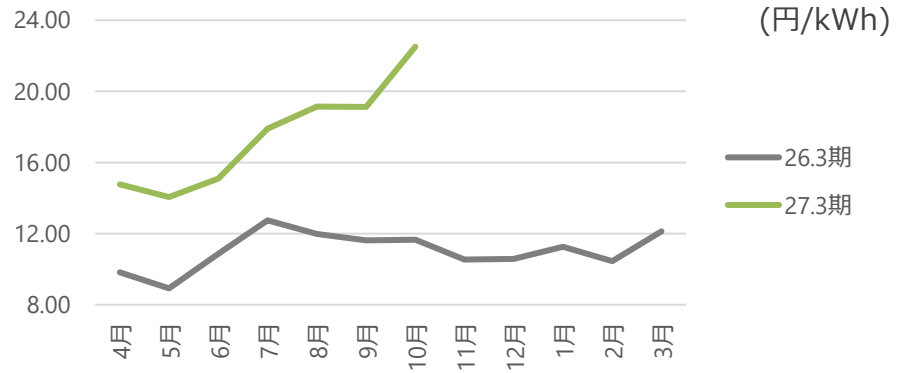
売上高　※激変緩和補助金含む



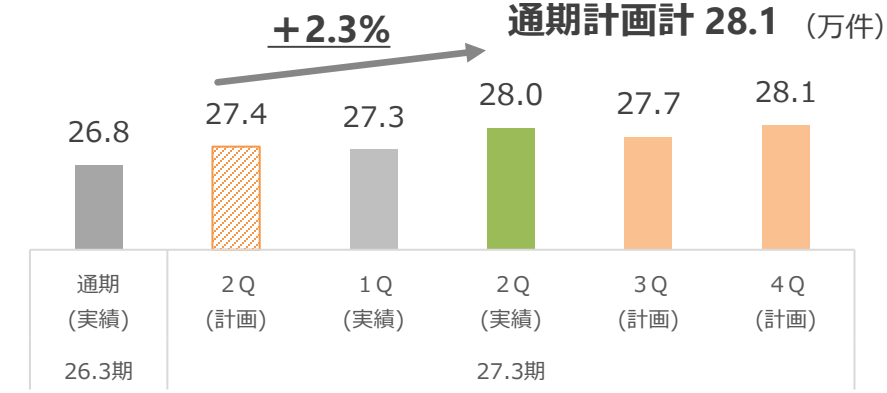
販売電力量



市場価格推移（JEPXシステムプライス）



供給件数



Copyright©　erex Co.,Ltd.　All rights reserved.

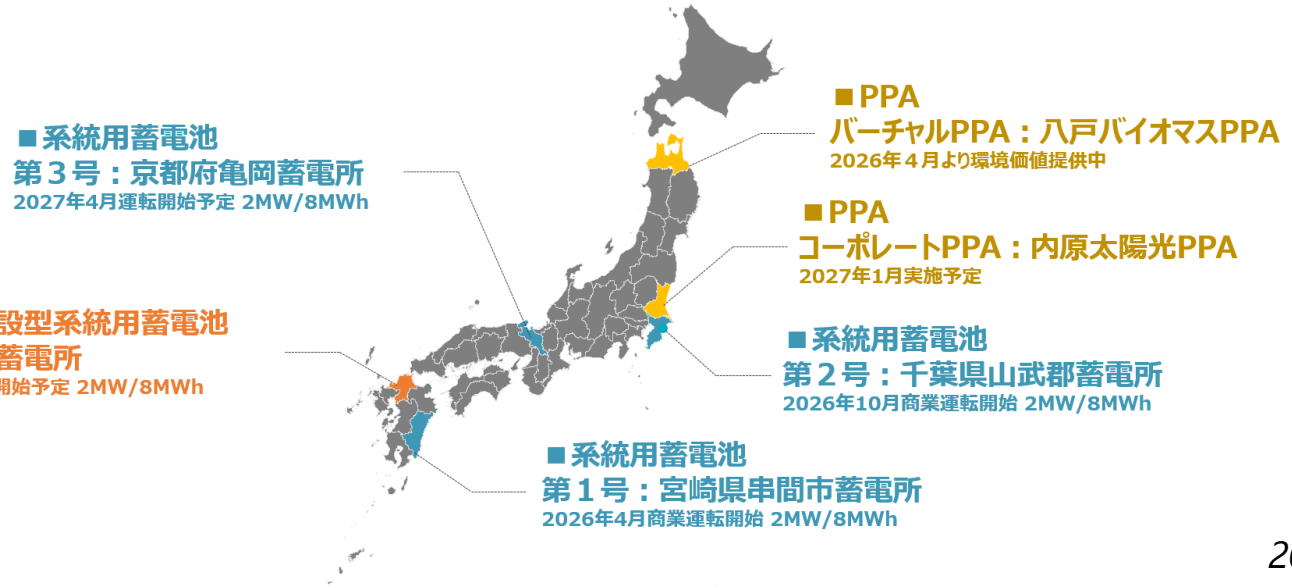
系統用蓄電池　運用受託のアグリゲーションサービス開始

- 2026年9月より、当社がアグリゲーターとして、他社が保有する特別高圧・高圧の系統用蓄電池を対象に運用および市場取引を受託するアグリゲーションサービスを開始
- 需給調整市場をはじめとする電力市場運用を通じて、蓄電池保有事業者の収益機会の拡大を支援

蓄電池保有事業者		アグリゲーター		売買先
特別高圧・高圧 系統用蓄電池	制御費用 → ← 運用・制御 収益還元	erex	電力取引 ↔	日本卸電力取引所 容量市場 需給調整市場

アグリゲーション事業全体像

自社案件を含めて
全国での運用を目指して推進中



Copyright©　erex Co.,Ltd.　All rights reserved.

系統用蓄電池　第２号案件の商業運転開始

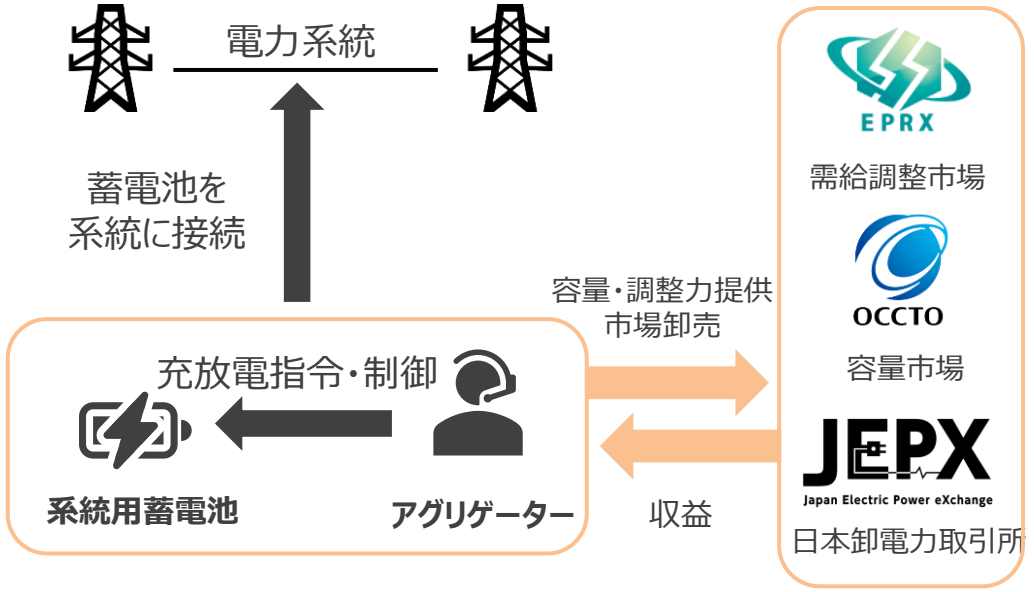
- 系統用蓄電池 第２号案件「千葉県山武郡蓄電所」が、2026年10月20日に商業運転を開始
- 2026年4月に商業運転を開始した第１号案件に続くものであり、当社のアグリゲーション事業の拡大と収益機会の創出に寄与

千葉県山武郡蓄電所



第２号案件	
エリア	千葉県山武郡
容量	出力2ＭＷ・蓄電容量8MWh
運転開始	2026年10月

スキーム図



Copyright©　erex Co.,Ltd.　All rights reserved.

1. 2027.3期　上期　決算概要

2. 全体戦略

3. 取り組み状況 – 国内

4. 取り組み状況 – 海外

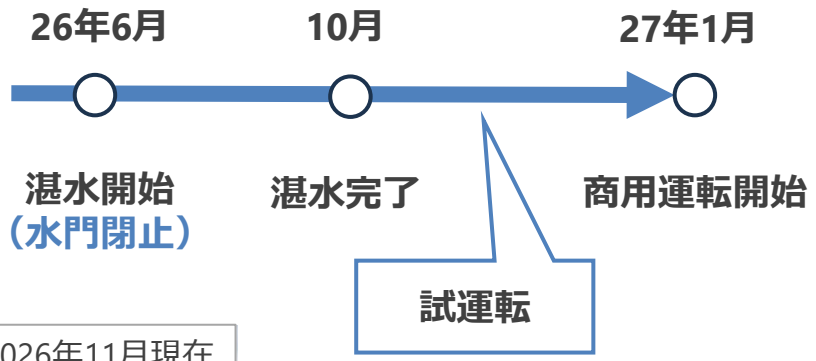
Copyright©　erex Co.,Ltd.　All rights reserved.

カンボジア　水力事業／データセンター事業性調査・投資実施の政府承認取得

- ポーサット州にて水力発電所（80MW）の建設工事が進行中。ダム本体の盛り立ておよび導水トンネルの掘削工事が完了、現在は発電タービンの据付工事を実施中。2026年6月に水門を閉止して湛水を開始。BOT※方式のもと、35年間の電力売買契約をカンボジア電力公社と締結済
- 2026年7月、水力発電所を建設中のポーサット州において、データセンター事業の事業性調査および投資を実施するための政府承認を取得。水力発電所のダム貯水を活用した冷却能力は、カンボジアにおけるデータセンター事業の基盤となりうる







※ Build Operate and Transfer の略。事業会社が施設を建設し、一定期間管理・運営を行って資金を回収した後、公共側に施設を譲渡する方式

Copyright©　erex Co.,Ltd.　All rights reserved.

カンボジア　水力事業　2026年11月時点



Copyright©　erex Co.,Ltd.　All rights reserved.

（再掲）カンボジアプロジェクト全体像



Copyright© erex Co.,Ltd. All rights reserved.

ベトナム石炭火力 ３基目の混焼試験を完了

- ビナコミンパワー社所有の石炭火力発電所２か所においてバイオマス混焼試験実施済（2025年9-11月 ナズオン発電所、2025年12月-2026年1月カオガン発電所）
- ３基目としてビナコミンパワー社所有のノンソン石炭火力発電所において2026年10月に混焼試験を完了。経済産業省の令和７年度「資源国脱炭素化・エネルギー転換技術等支援事業費補助金」を活用

混焼試験概要

出力	30MW
実施期間	2026年9月～10月
混焼比率	木質ペレット： ５～30% 木質チップ： ５%
混焼用燃料	木質チップ、ペレットそれぞれで実施

- 木質ペレットでは目標の混焼率20%を上回る30%を達成
- 一方、木質チップでは目標の20%に対し、混焼率５%で試験を完了。供給設備で木質チップの滞留が確認されたため、設備の安定運転を優先したことが理由
- 試験では、既存設備を改造せずに実施可能な混焼率を確認することも目的。また、供給設備も小さいことから、混焼率の向上に向けて改造が必要となる箇所を確認
- ベトナム・商工省へ混焼試験結果と混焼事業に向けた提案書を提出

木質ペレット・石炭混合物の投入状況



木質チップの投入状況



Copyright© erex Co.,Ltd. All rights reserved.

ベトナム新設バイオマス発電所

- **2024年4月1日に「ベトナム第８次国家電源開発計画（PDP8）の実施計画」が承認（当社案件：18件）。イエンバイバイオマス発電所、トゥエンクアンバイオマス発電所ともに2027年度末運転開始予定**
- **両発電所ともに、燃料費の変動分を反映した新売電価格制度が適用される見通し**
- **環境省の令和５年度「二国間クレジット制度（Joint Crediting Mechanism：JCM）資金支援事業のうち設備補助事業※1 」に採択※2**

概要	□ 出力：50MW/基 □ 燃料：木質残渣 □ 出資比率：イーレックス100% （国内外の企業が出資参画を検討中）
今後の見通し	□ 燃料代の変動が売電価格に反映される新制度の売電契約（PPA）をベトナム電力公社と締結予定



イエンバイバイオマス発電所の建設状況



※1 二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業では、パートナー国において優れた脱炭素技術等を活用して温室効果ガス（GHG）の排出量を削減し、GHG排出削減効果の測定・報告・検証を行い、JCMクレジットを発行し、我が国の温室効果ガス排出削減目標の達成に活用することを目指します。なお、本事業はベトナム政府と日本政府の協力の下、実施されています。
※2 2024年3月22日付「令和5年度「二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業」における採択について」にて公表。

Copyright© erex Co.,Ltd. All rights reserved.

ベトナム先行２案件

- **当社初の海外事業としてベトナムで以下２案件が稼働開始済。ハウジャンバイオマス発電所は2025年4月より運転開始。トゥエンクアンペレット工場では2025年3月より認証木質ペレットの製造を開始**
- **稼働率の向上や燃料費・原料費の低減、安定稼働のための燃料・原料の早期備蓄を実施中**
- **売電価格の引き上げによる収益改善を交渉中**

ハウジャンバイオマス発電所（20MW、燃料：もみ殻年13万t）



- 補助金：環境省の令和４年度「二国間クレジット制度（Joint Crediting Mechanism：JCM）資金支援事業のうち設備補助事業※1 」に採択済※2

- もみ殻価格の高騰が継続しており、新しい調達先の開拓により原価低減および安定供給を図る
- 黒字化に向けて、売電価格の引き上げについて引き続き交渉中。売電価格の引き上げ後は稼働率を向上
  ※稼働率実績：26年度1Q 82%、2Q 57%
  2Q後半は、売電価格の引き上げ可能性が高まっていることを受け、赤字抑制のため稼働を当面停止

トゥエンクアンペレット工場（木質ペレット年15万t）



- 日本国内他社バイオマス発電所向けに出荷開始済

- 安価なベニヤ残渣の調達、雨季や大型連休等に向けた近隣倉庫での備蓄を実施
- 現在は電気料金の安価な夜間のみの運転とし人員数の適正化および直雇用化等のコスト低減を図る
  ※原料価格の高騰が継続し、今期は赤字の見通し

※1 二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業では、パートナー国において優れた脱炭素技術等を活用して温室効果ガス（GHG）の排出量を削減し、GHG排出削減効果の測定・報告・検証を行い、JCMクレジットを発行し、我が国の温室効果ガス排出削減目標の達成に活用することを目指します。なお、本事業はベトナム政府と日本政府の協力の下、実施されています。
※2 2022年7月1日付「令和4年度「二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業」の公募における第一回採択案件の決定について」にて公表。

Copyright© erex Co.,Ltd. All rights reserved.

海外事業の状況

- ベトナムおよびカンボジアにおいて発電・燃料を一体とした事業展開、後続案件の開発・建設も進捗
- ベトナムにおいては現在石炭火力の稼働率が高まる中、バイオマス混焼事業の本格化に向けて準備中
- 発電事業におけるカーボンクレジットの創出を通じた複合的な収益モデルを構築

開発中プロジェクト	意義	ベトナム	カンボジア
新設バイオ	旺盛な電力需要への対応	2基建設中（トゥエンクアン、イエンバイ） 27年度末運転開始予定	バイオマス・太陽光発電所開発中
混焼	脱炭素支援	25年度 2か所混焼試験済 26年度 ノンソン発電所混焼試験実施 26年度 商用運転についてビナコミンと協議中	-
水力	輸入電力の削減	-	建設中、27年1月運転開始予定
カーボンクレジット	日本国内脱炭素への貢献	JCMクレジット・ベトナム政府と配分協議中 ベトナムETS市場設立に向けたタスクフォース準備中	バイオマス発電所がJCM設備補助事業に採択
燃料	バイオマス発電所への燃料安定供給	サプライヤーとの直接取引開始 一次生産者との燃料交渉開始	水力発電用地・植林候補地からの木質バイオマス回収 バイオマス発電所用植林開始済

発電収益の創出（長期PPA）、燃料の安定供給、カーボンクレジットによる収益拡大

Copyright© erex Co.,Ltd. All rights reserved.

新規事業の収益貢献拡大に向けたスケジュールイメージ

	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	年間平均収益ポテンシャル（税引前利益）
■国内						
系統用蓄電池第１号（2MW/8MWh）	運転開始					0.8-0.9億円
系統用蓄電池第２号（2MW/8MWh）	運転開始					0.8-0.9億円
系統用蓄電池第３号（2MW/8MWh）		運転開始				0.8-0.9億円
太陽光併設型蓄電池（2MW/8MWh）		運転開始				0.6億円
新潟バイオマス発電所				運転開始		非開示
■海外						
カンボジア水力	試運転開始	運転開始				11MUSD
石炭火力バイオマス混焼 55MW×2基20%混焼の場合		運転開始	クレジット発行開始			3MUSD
ベトナム新設バイオマス発電所2基		運転開始	クレジット発行開始			10MUSD
カンボジア太陽光・バイオマス		運転開始	JCMクレジット活用検討中			8MUSD

Copyright© erex Co.,Ltd. All rights reserved.

appendix

Copyright© erex Co.,Ltd. All rights reserved.

統合報告書2026を発行

- **2026年11月に統合報告書2026を発行**
- **「再生可能エネルギーをコアに電力新時代の先駆者になる」ことを目指し、AI・データセンター需要の増大、再生可能エネルギーの導入拡大、アジアにおける電力需要の増加など、電力市場の構造変化を成長機会として捉え、国内外の事業を通じた当社の価値創造の全体像を紹介**



「統合報告書 INTEGRATED REPORT 2026」ダウンロードURL（当社ホームページ内）
https://www.erex.co.jp/assets/pdf/pages/common/integrated_report_2026.pdf

Copyright©　erex Co.,Ltd.　All rights reserved.

株主優待制度の開始

- **株式の流動性向上および投資家層の拡大を図ることを目的として、2026年5月より当社株主様限定のウェブサイト「イーレックス・プレミアム優待倶楽部」を新設**
- **データベースを積極的に活用し、株主管理のDX化を促進。また、PR情報・決算情報・適時開示情報等のIR情報を随時配信し、株主様との対話を強化**

対象	2026年以降、毎年３月末日および９月末日の当社株主名簿に記録または記載された300株以上保有の株主様が対象
優待内容	米やブランド牛などのこだわりグルメ、スイーツや飲料類、銘酒、電化製品、選べる体験ギフトに加え、5,000種類以上の商品等と交換可能なポイントを進呈

保有株式数	各進呈ポイント数 ３月末日/９月末日
300株～399株	2,000
400株～499株	3,000
500株～599株	5,000
600株～999株	7,000
1,000株～1,499株	12,000
1,500株～1,999株	20,000
2,000株～2,999株	25,000
3,000株以上	35,000











Copyright©　erex Co.,Ltd.　All rights reserved.

PL主要項目　四半期推移（実績）

	2026.3期（実績）									2027.3期（実績）								
	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	3Q累計	下期	通期累計	通期計画	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	3Q累計	下期	通期累計	通期計画
売上高	**370**	**494**	**414**	**411**	**865**	**1,279**	**826**	**1,691**	**1,761**	**485**	**643**			**1,128**				**2,406**
前期比率	110.8%	99.4%	95.5%	92.3%	104.0%	101.1%	93.9%	98.8%	102.9%	131.0%	130.0%			130.4%				142.3%
粗利	**38**	**58**	**51**	**46**	**97**	**148**	**97**	**194**	**183**	**37**	**22**			**59**				**191**
売上高利益率	10.5%	11.8%	12.3%	11.3%	11.2%	11.6%	11.8%	11.5%	10.4%	7.7%	3.5%			5.3%				8.0%
前期比率	96.6%	97.7%	93.3%	92.4%	97.3%	95.9%	92.9%	95.0%	89.5%	96.3%	38.3%			61.5%				98.4%
販管費	**27**	**36**	**30**	**39**	**64**	**95**	**70**	**134**	**121**	**28**	**31**			**60**				**133**
前期比率	128.6%	138.7%	98.1%	132.9%	134.2%	120.0%	115.0%	123.5%	111.2%	102.1%	86.5%			93.2%				99.0%
営業利益	**14**	**21**	**10**	**28**	**36**	**46**	**38**	**75**	**86**	**6**	**▲0**			**5**				**78**
売上高利益率	3.9%	4.4%	2.5%	7.0%	4.2%	3.6%	4.7%	4.4%	4.9%	1.3%	▲ 0.1%			0.5%				3.2%
前期比率	76.0%	67.0%	36.1%	▲ 328.6%	70.4%	58.1%	195.6%	105.3%	120.5%	43.4%	-			15.8%				103.8%
小売・トレーディング	20	23	22	18	43	66	41	85	86	16	▲ 0			16				74
発電・燃料	▲ 5	2	5	1	▲ 3	2	7	4	▲ 6	0	▲ 2			▲ 1				▲ 7
海外	▲ 3	▲ 5	▲ 6	▲ 11	▲ 8	▲ 14	▲ 17	▲ 25	▲ 12	▲ 6	▲ 6			▲ 13				▲ 17
その他連結調整	▲ 3	▲ 3	▲ 4	▲ 9	▲ 7	▲ 11	▲ 13	▲ 20	▲ 16	▲ 4	▲ 3			▲ 8				▲ 5
IFRS調整	7	4	▲ 7	28	11	3	20	32	36	0	12			13				34
税引前利益	**5**	**26**	**23**	**34**	**32**	**55**	**57**	**89**	**75**	**12**	**▲ 11**			**1**				**92**
売上高利益率	1.4%	5.4%	5.7%	8.3%	3.7%	4.4%	7.0%	5.3%	4.3%	2.6%	▲ 1.8%			0.1%				3.9%
前期比率	17.0%	221.6%	59.3%	▲ 171.0%	73.8%	66.9%	291.2%	141.8%	118.6%	232.3%	-			3.4%				103.5%
当期利益※1	**▲ 1**	**17**	**21**	**15**	**15**	**37**	**37**	**53**	**34**	**8**	**▲ 12**			**▲3**				**54**
売上高利益率	▲ 0.4%	3.5%	5.2%	3.9%	1.8%	2.9%	4.5%	3.2%	1.9%	1.8%	▲ 1.9%			▲ 0.3%				2.2%
前期比率	-	-	78.8%	▲ 69.4%	94.1%	84.6%	869.8%	251.7%	161.3%	-	-			-				101.4%

※1 当期利益：親会社の所有者に帰属する四半期利益

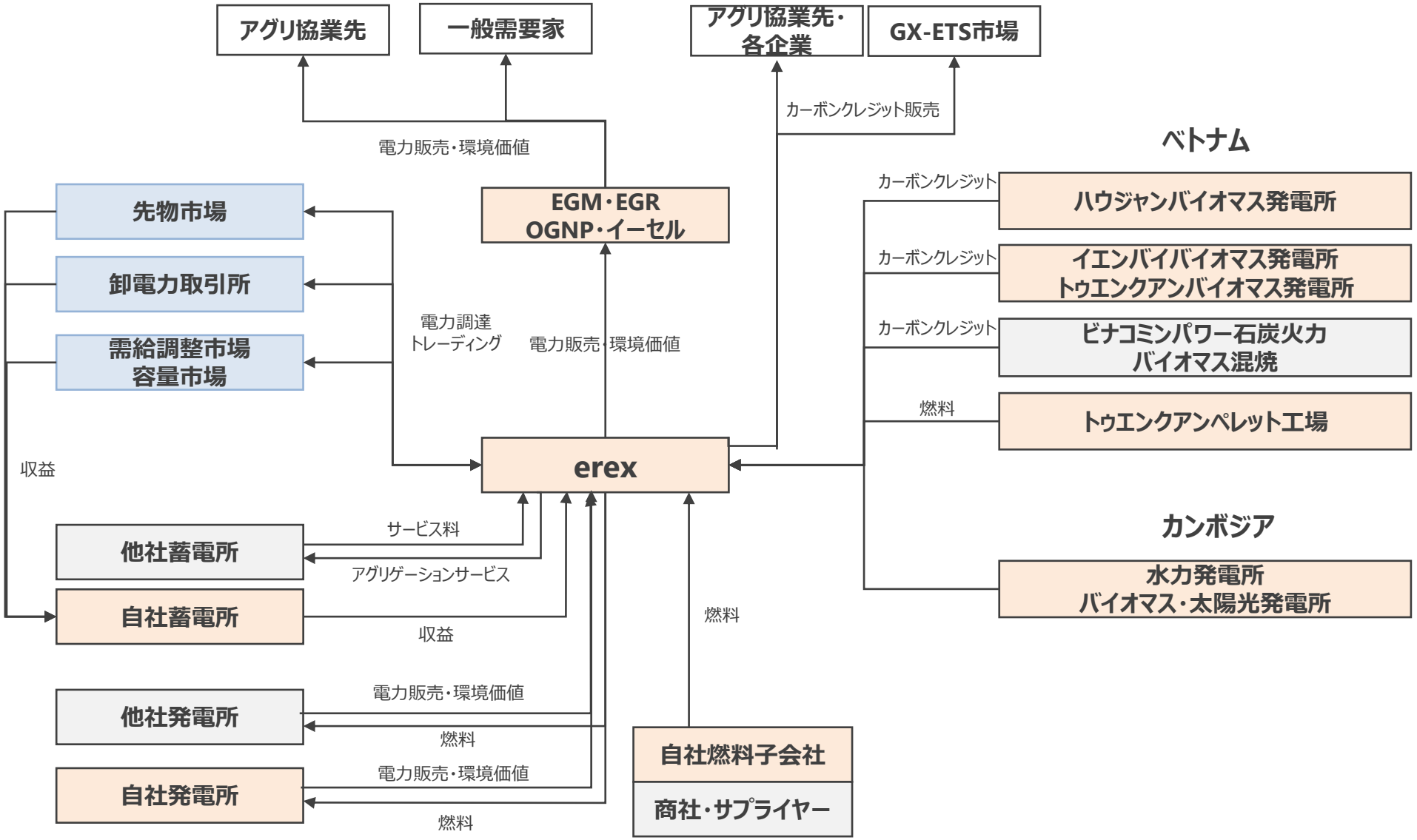
Copyright©　erex Co.,Ltd.　All rights reserved.

小売・トレーディング部門　四半期推移（実績）

	2026.3期（実績）									2027.3期（実績）								
	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	3Q累計	下期	通期累計	通期計画	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	3Q累計	下期	通期累計	通期計画
高圧																		
売上　（億円）	**122**	**176**	**141**	**148**	**299**	**440**	**289**	**588**	**588**	**149**	**186**			**335**				**757**
前期比率	105.5%	109.7%	99.0%	101.4%	107.9%	104.9%	100.2%	104.0%	99.1%	121.8%	▲ 3.5%			112.2%				128.6%
販売電力量（GWh）	**631**	**839**	**731**	**756**	**1,471**	**2,202**	**1,488**	**2,959**	**2,778**	**664**	**752**			**1,417**				**2,976**
前期比率	125.8%	123.5%	118.5%	118.5%	124.4%	122.4%	118.5%	121.4%	114.0%	105.3%	89.6%			96.3%				100.6%
契約容量　（MW）	**1,033**	**1,056**	**1,094**	**1,098**	**1,056**	**1,094**	**1,098**	**1,098**	**1,076**	**1,076**	**1,024**			**1,024**				**1,059**
前期比率	119.0%	115.8%	114.2%	115.6%	115.8%	114.2%	115.6%	115.6%	113.3%	104.1%	97.0%			97.0%				96.4%
低圧																		
売上　（億円）	**72**	**108**	**83**	**92**	**181**	**264**	**175**	**356**	**363**	**79**	**118**			**198**				**412**
前期比率	80.8%	73.5%	75.8%	92.4%	76.3%	76.1%	83.7%	79.8%	81.3%	109.4%	▲ 21.8%			109.2%				115.5%
販売電力量（GWh）	**233**	**345**	**263**	**296**	**578**	**842**	**559**	**1,138**	**1,113**	**227**	**328**			**556**				**1,078**
前期比率	80.6%	77.7%	82.1%	99.3%	78.9%	79.9%	90.4%	84.1%	82.3%	97.8%	95.2%			96.2%				94.7%
供給件数　（千件）	**248**	**257**	**263**	**268**	**257**	**263**	**268**	**268**	**246**	**273**	**280**			**280**				**281**
前期比率	82.0%	86.6%	90.1%	111.6%	86.6%	90.1%	111.6%	111.6%	102.6%	109.7%	109.0%			109.0%				104.8%

Copyright©　erex Co.,Ltd.　All rights reserved.

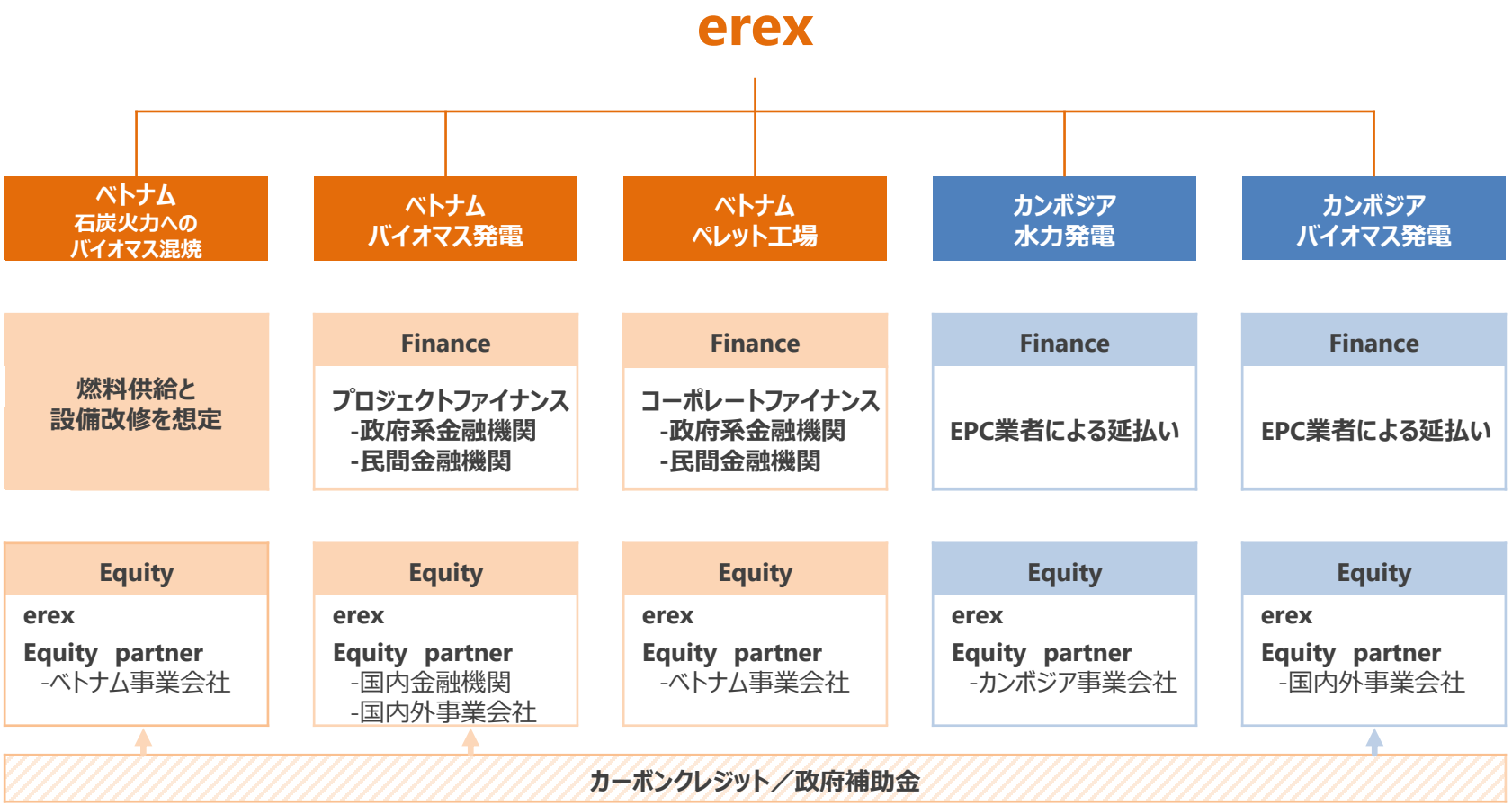
当社事業モデル



Copyright© erex Co.,Ltd. All rights reserved.

海外プロジェクトの資金調達について

- 海外での発電所やペレット工場等についての資金調達は、案件種類に応じて国際協力銀行等の公的金融機関並びに三井住友銀行をはじめとした民間金融機関からのプロジェクトファイナンスとコーポレートファイナンスにて行う予定
- エクイティ部分は、当社がマジョリティを出資。多くの国内外の有力事業会社、国内金融機関などから出資希望あり
- プロジェクトに対する政府補助金とカーボンクレジットにより収益性の極大化を図る



Copyright© erex Co.,Ltd. All rights reserved.

将来見通しに関する注意事項

本資料は弊社グループの企業情報等の提供をするために作成されたものであり、国内外を問わず、弊社の発行する株式その他有価証券への勧誘を目的とするものではありません。

本資料に記載される業界、市場動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、弊社はその真実性、正確性、合理性および網羅性について保証するものではなく、また、弊社はその内容を更新する義務を負うものでもありません。

また、本資料に記載される弊社グループの計画、見通し、見積り、予測、予想その他の将来情報については、現時点における弊社の判断又は考えにすぎず、実際の弊社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外のエネルギー政策、法令、制度、市場等の動向、弊社グループの事業に必要な許認可の状況、土地や発電設備等の取得・開発の成否、天候、気候、自然環境等の変動等により、本資料記載の内容又はそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

本資料に関するお問い合わせ先

イーレックス株式会社　IR広報部

Mail: irpr.info@erex.co.jp

Copyright©　erex Co.,Ltd.　All rights reserved.

erex

ENERGY RESOURCE EXCHANGE

Copyright© erex Co.,Ltd. All rights reserved.